総務委員会資料
平成28年12月15日

格付基準等に関する調査結果集計表 （政令市除く26市＋桂川町）（平成28年11月調査）

	調査内容	集計結果	備　考
1	格付をしている工種	全工種　6	柳川、小郡、春日、大宰府、うきは、みやま
		一部の工種　18 土16、建15、と1、解体1、電9、管10、舗9、塗1、園5、水3、下水道1、水道本管1	大牟田、久留米、直方、飯塚、田川、八女、筑後、大川、行橋、豊前、中間、大野城、宗像、糸島、古賀、宮若、嘉麻、朝倉
		格付なし　3	筑紫野、福津、桂川
2	特定建設業の許可のない業者の格付への反映	反映なし　20	大牟田、直方、田川、柳川、八女、筑後、大川、行橋、豊前、中間、小郡、春日、大野城、宗像、大宰府、古賀、うきは、嘉麻、朝倉、みやま
		最高ランクへの格付しない　4	久留米、飯塚、糸島、宮若
		格付なし　3	筑紫野、福津、桂川
3	新規業者の格付	総合点数どおり　8	大牟田、小郡、春日、大野城、宗像、大宰府、古賀、うきは
		1ランク下　1	久留米
		最下位ランク　14	直方、飯塚、田川、柳川、八女、筑後、大川、行橋、豊前、中間、糸島、嘉麻、朝倉、みやま
		格付なし　3	筑紫野、福津、桂川
		その他　1 （1年目保留、2年目最下位ランク）	宮若
4	新規業者の指名開始	すぐ指名可能　13	直方、田川、柳川、筑後、大川、豊前、筑紫野、春日、大宰府、福津、嘉麻（3年間200万まで）、朝倉、みやま
		半年後　4	久留米、行橋、小郡、うきは
		1年後　7	大牟田、八女、中間、大野城、糸島、古賀、宮若
		その他　3 （随契複数100万以上 / 一定期間 /小規模複数）	飯塚、宗像、桂川
5	前年度と同じ工種を希望する場合の昇格	制限なし　16	大牟田、久留米、飯塚、柳川、大川、行橋、小郡、春日、大野城、宗像、大宰府、糸島、古賀、うきは、朝倉、みやま
		1ランクのみ　7	直方、田川、八女、豊前、中間、宮若、嘉麻
		格付なし　3	筑紫野、福津、桂川
		その他　1 （入札制度検討委員会で決定）	筑後
6	前年度と異なる工種を希望する場合の格付	点数どおり　15	大牟田、久留米、田川、柳川、筑後、豊前、小郡、春日、大野城、宗像、大宰府、古賀、うきは、宮若、みやま
		1ランク下　1	飯塚
		最下位ランク　8	直方、八女、大川、行橋、中間、糸島、嘉麻、朝倉
		格付なし　3	筑紫野、福津、桂川
7	第2希望を受付している工種	全工種　24	大牟田、久留米、直方、飯塚、田川、柳川、八女、筑後、大川、行橋、豊前、中間、小郡、筑紫野、春日、大野城、太宰府、糸島、古賀、福津、うきは、嘉麻（重複不可業種あり）、朝倉、みやま
		一部の工種　1 9工種（土・建・電・管・舗・塗・内・機・園）	宮若
		受付なし　2	宗像、桂川
8	第2希望業者の格付基準	第1希望と同じ　17	大牟田、久留米、田川、柳川、八女、大川、行橋、豊前、小郡、春日、大野城、大宰府、うきは、宮若、嘉麻、朝倉、みやま
		格付なし　6	飯塚、筑後、筑紫野、糸島、古賀、福津
		受付なし　2	宗像、桂川
		その他　2 （第2希望概念なし2）	直方、中間

総務委員会資料
平成28年12月15日提出

飯塚市中心市街地活性化事業の取組状況について　（核事業の進捗状況）

地域連携都市政策室

現時点

平成23年度　平成24年度　平成25年度　平成26年度　平成27年度　平成28年度

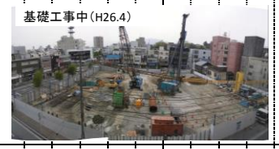
吉原町１番地区第一種市街地再開発事業（施行者：吉原町１番地区市街地再開発組合）

- 基本構想
- 2/2 ●準備組合設立
- 都市計画決定
- 12/7 ●都市計画決定
- 事業計画
- 1/23 ●組合設立(認可)
- 5/16 ●事業計画認可
- 権利変換
- 7/16 ●事業計画変更
- 8/28 ●権利変換計画認可
- 仮設バス停運用
- 解体・整地工事
- 建築工事
- 管理規約
- 9/19 ●権利変換計画変更
- 11/19 ●管理規約認可
- 7/25 ●グランドオープン
- 8/1 ●急患センター診療開
- 周辺道路整備
- ●組合解散認可
- 公告
- ●臨時総会（決算承認）
- ●組合解散通知

着工前

解体中（H25.12）

基礎工事中（H26.4）



施工中（H26.10）

施工中（H27.5）

完成（H27.7）

完成イメージ

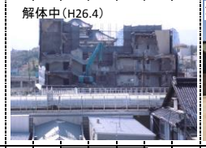
ダイマル跡地事業地区暮らしにぎわい再生事業（施行者：㈱まちづくり飯塚）

○健幸プラザ整備（市）

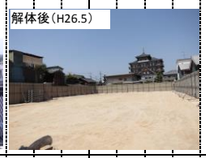
- 1/11 ●㈱まちづくり飯塚設立
- 不動産取得手続き
- 4/4 ●不動産売買契約
- 地盤調査・基本設計・実施設計
- 10/12 ●解体工事着工
- 解体工事
- 建築工事
- ●入居開始
- 10/1 ●健幸プラザ供用開始

着工前

解体中（H26.4）

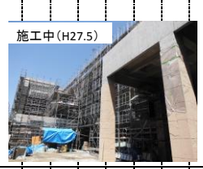


解体後（H26.5）



施工中（H26.11）

施工中（H27.5）



完成（H27.7）

健幸プラザ　トレーニング室

完成イメージ

飯塚本町東地区整備事業

- 土地区画整理事業（施行者：飯塚市）
- 優良建築物等整備事業（施行者：㈱エストラスト）
- 子育てプラザ(街なか子育てひろば)整備事業（施行者：飯塚市）

土地区画整理事業

- 都市計画決定
- 12/7 ●都市計画決定
- 事業計画
- 2/19 ●事業計画認可
- 3/29 ●事業計画決定公告
- 7/25 ●土地区画整理審議会設置
- 第１期
- 第１期 移転補償
- ●仮換地指定
- 第１期 建物解体
- 第１期 造成工事
- ●第１期使用収益開始
- 第２期
- 第２期 移転補償(個人解体含む)
- 建物解体
- 第２期 造成工事
- ●第２期使用収益開始
- 事業計画変更
- ●事業計画変更公告
- 広場工事 6/28
- 換地計画
- ●換地計画認可
- ●換地処分公告
- 8/5 ●区画整理登記（完了）
- 10/15 ●永楽まちびらきフェスタ
- ●土地区画整理審議会解散
- 地元調整(勉強会・研究会・意向調査)

優良建築物等整備事業（分譲マンション）

- 5/31 ●推進協議会設立
- 公募条件・選定方法
- ●事業施行者募集
- 10/17 ●事業施行者決定
- ●土地譲渡契約開始
- 地盤調査・建築設計
- 建築工事
- ●工事竣工
- 内覧
- ●引渡入居開始

子育てプラザ整備事業

- ●用地取得
- 建築設計
- 建築工事 7/21
- 10/1 ●供用開始

着工前

着工前（H26.4）

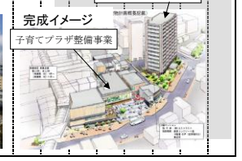
解体中（H26.8）

造成中（H27.1）

造成後（H27.3）

完成（H28.10）

完成イメージ



※　平成24年3月29日：中心市街地活性化基本計画 内閣総理大臣認定

総 務 委 員 会 資 料
平成 28 年 12 月 15 日提出

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況について

現在、本市が取り組んでいる「飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進においては、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年 11 月 28 日公布）の規定により、定期的に客観的な効果検証を実施することが定められています。

また、地方版総合戦略の策定と検証の段階においては、議会での十分な審議のほか、住民代表や産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体等の産官学金労等で構成する推進組織を設置して審議するなど、広く関係者の意見が反映されるように取り組むことが重要と示されており、「飯塚市まち・ひと・しごと総合戦略」でも、進捗管理の計画において「産官学金労言」の連携のもと、PDCA サイクルによる効果検証を実施することを定めています。

このため、平成 28 年 4 月に「飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組み内容や、進捗状況を客観的に検証する産官学金労言の各団体の代表者等で構成する「飯塚市総合戦略推進会議」を設置し、次のとおり広く意見を聴取し検証を行ったため、その結果を報告します。

【飯塚市総合戦略推進会議の所掌事務概要】

① 飯塚市総合戦略に基づく施策の実施状況、効果の検証
② 総合戦略の見直し及び効果的な推進に関する意見・提言
③ ①及び②のほか、総合戦略の推進において必要な事項に関する意見・提言

【開催日】　平成 28 年 10 月 4 日（火）　午後 6 時～

【会　場】　飯塚市役所 本庁 4 階 研修室

【出席者】　外部委員 13 人（委員名簿参照）
企画調整部長、総合政策課長、担当主査、関係課長 等

【内　容】　①先行型交付金（基礎交付・上乗せタイプⅠ・タイプⅡ）対象 8 事業の検証
②総合戦略基本目標の数値目標（8 項目）等に関する進捗状況の確認

【委員名簿】

構成所属団体等名 （住民代表・産官学金労言 等）		役　職　等	氏　　名
大学	九州工業大学 情報工学部	情報工学研究院生命 情報工学研究系 教授	安永　卓生
住民代表	自治会連合会	理事	逢坂　忠男
		理事	多田　憲昭
労働団体 （官公庁）	福岡県福祉労働部	筑豊労働者支援 事務所長	田丸　哲夫
産業団体	嘉飯桂産業振興 協議会	会長	吉田　和彦
福祉団体	飯塚医師会	会長	松浦　尚志
教育・文化 団体	小中学校 PTA連合会	飯塚市PTA連合会 母親代表	北方　妙子
民主団体	部落解放同盟 飯塚市協議会	書記長	安永　勝利
金融機関	福岡銀行	飯塚支店 支店長	村本 慶次郎
	西日本シティ銀行	飯塚支店 支店長	尾﨑　健一
	飯塚信用金庫	常務理事	赤間　光博
言　　論	報道機関 （代表社対応）	毎日新聞社 筑豊支局長	平山　千里
学識経験者	地方自治政策 アドバイザー	九州大学大学院 法学研究院 教授	出水　　薫

※委員任期：2 年（平成 28 年 10 月 4 日～平成 30 年 10 月 3 日）

総合戦略推進会議での検証結果による委員の主な意見・提言（要旨）

〔総　括〕

【先行型交付金対象事業に関する意見】

(1) 目標値・重要業績評価指標（KPI）の設定内容に関する意見

○KPI の設定と、事業等の取組内容の繋がりが明確でない施策や事業が見られる。今後、KPI の設定においては詳細な分析等に基づく目標値の設定を行うこと。

○指標の設定が曖昧であり、目標値の内容や数値、単位が適切な表現でない指標が見られる。

○KPI の設定内容と取組の効果発現時期がずれている事業もあり、今後の進捗状況を見ていく必要がある。

(2) 施策や具体的な事業等の有効性、効率性に関する意見

○事業の検証において、現時点での効果を踏まえ、本市総合戦略の KPI 達成に「有効とはいえない」と評価した事業があるが、取組自体を否定するものではない。今後、適切な KPI を再考のうえ、引き続き事業の推進に努めていただきたい。

○事業の効果において、投入したコストに対し妥当な費用対効果が得られていない事業が見られる。今後の事業推進では、十分な効果を得られるよう引き続き努力いただきたい。

【総合戦略の進捗状況に関する意見】

○戦略の策定から評価時期（H28.3）までの期間が短期間であることから、十分に効果や成果を現れていない事業が見られたが、今後の効果発現に繋げる事業の推進に期待する。

○現時点の進捗状況では、KPI の達成に大きく遅れが生じている施策や事業が見られるが、平成 31 年度の最終目標の達成に向けて、今後は年度単位の KPI 達成をめざして努力していただきたい。

○KPI の設定が適切でないことから、有効性、効率性への内部評価が妥当とはいえない事業が見られる。今後の事業推進においては、内部での十分な検証を行い、適切な評価の実施に努められたい。

①地方創生先行型交付金「基礎交付」及び「上乗せ交付金（タイプⅠ・Ⅱ）」対象8事業に関する検証結果

連番	対象事業名	区分	担当課	ＫＰＩの内容	目標値 実績値	効果発現要因	今後の取組みの方向性	評価判定【投票数】（①：②）
1	観光客集客推進事業	基礎交付	商　工観光課	外国人ツアー団体数	100組 40組	海外の旅行会社に対する営業活動を行っているが、ツアーの造成には半年から1年の時間が必要であるため、実績が目標に大きく及んでいないものの、次年度以降に効果が現れると見込んでいる。	本事業において「旧伊藤伝右衛門邸」と「嘉穂劇場」への外国人観光客向けの環境整備が実施できたため、今後も海外の旅行会社への営業活動を継続し行っていく。	①有効であった （７：６）
2	観光客集客推進事業	上乗せタイプⅡ	商　工観光課	観光入込客数	300万人 215万人	コンサルティングを活用した本事業によって、新たに約5千人が来飯したこと、新規に飯塚オートを組込んだ観光ルートを開発したことなど一定の成果があったが、平成26年度の「花子とアン」などの影響による入込客数の増加が一時的なものであったことから27年度の入込客数は減少した。	新たな観光ルートの開発や、国内・海外の旅行会社に対する営業活動を継続して実施する。	②有効とはいえない （６：７）
3	企業立地促進補助事業	基礎交付	産　学振興課	新規常用従業員数	60人 70人	企業誘致活動による新規の立地企業1社と増設企業3社によって、常用従業員の新規雇用者数の実績は目標値を上回った。	今後も継続して、企業誘致活動、既存企業等への支援活動に取組みむとともに、企業ヒアリング等を通して、企業が求める助成制度の検討や、各支援制度の周知活動の強化を図る。	①有効であった （13：0）
				投下固定資産総額	1,000,000千円 2,404,313千円	新規企業の立地及び増設企業等の設備投資によって、投下固定資産総額の実績は目標値を上回った。		
4	新産業創出支援補助事業	基礎交付	産　学振興課	共同開発施設設置数	1件 1件	設置主体との密な連携により、目的どおりに共同開発施設を設置することができた。	本事業で支援した共同開発施設につき、設置した企業と協力し、地域の企業や研究者等の共同開発の場としてより一層の活用促進に努める。	①有効であった （13：０）

連番	対　象 事業名	区分	担当課	ＫＰＩ の内容	目標値 実績値	効果発現要因	今後の取組み の方向性	評価判定 【投票数】 （①：②）
5	ワンストップ型オープンイノベーション拠点整備事業	上乗せタイプⅠ	産　学 振興課	オープンイノベーション拠点整備検討調査件数	1件 1件	他の地域でオープンイノベーション拠点を運営している団体の支援を受け、拠点整備の在り方についての検討を行った。	オープンイノベーションの創出は、ハード面の構築以前に、地域コミュニティの構築が重要との検討での結論に沿って、今後はコミュニティの構築・拡大に取組む。	①有効であった （11：2）
6	がんばる農業応援事業	基礎交付	農　林 振興課	新規参入者数	2人 2人	市、市農業委員会、県農業普及指導センター、ＪＡ、筑豊農業共済組合で構成する「飯塚市がんばる農業応援協議会」の機能発揮により、協力体制や情報の共有化が図れ目標が達成した。	新規参入者は、市内居住者による就農と、市外から移住する就農者とに区分されることをい踏まえ、各々に応じたきめ細かな支援を通じ、新規就農者の農業経営が安定的に持続する支援の取組を行っていく。	①有効であった （13：0）
7	地域づくり推進事業	基礎交付	まちづくり 推進課	買い物支援サービス等の延べ利用者数	3,600人 497人	事業を希望しているが取組みにまで行き届かなかった地区が多く、目標に対し実績が大きく及ばなかった。	現在は2地区だけの実施であるため、事業を希望している他のまちづくり協議会に対し、さらに適切な指導・支援を行い実施に向けた取組みを進める。	②有効とはいえない （4：9）
				利用者の満足している割合	50.00% 96.47%	事業を実施した地域では、強い要望により実現したこともあり、利用者の評価は高い結果となった。		
8	地域包括ケア拠点事業	基礎交付	高齢者 支援課	地域包括ケア拠点の設置	1箇所 1箇所	事業を飯塚医師会に委託したことで、医療関係機関との連携が図れ、目標どおりにケア拠点の設置に至った。	地域（エリア）毎にシステムを構築できるように協議会を設置し、関係団体による社会資源や地域課題の把握、その解決に向けた協議を行う。	①有効であった （12：1）
				関係医療機関への拠点事業周知件数	170件 138件	リーフレットを作成し、医師会、歯科医師会、薬剤師会の各委員への周知を図るとともに、意見交換会を年5回開催し周知に努めたが、目標には至らなかった。	今後も、関係団体が実施する会議等で活動内容の周知に努め、拠点の利用促進を図る。	

【総合戦略推進会議による検証の評価判定区分】

飯塚市総合戦略のKPI達成に → 「①有効であった」・「②有効とはいえない」

※評価判定の方法は、会議での審議を経て、各委員の投票による多数決方式で判定することと決定。

②「基本目標（８項目）」の進捗状況に関する内部評価の確認

基本目標	個別施策	目標指標	担当課	目標の方向性	基準値	単位	H27 進捗状況 上：目標 下：実績	最　終目標値	進捗状況評価
(1)大学力と連携し、地域経済を牽引するまちづくり	①医工学連携をはじめとした新産業の創出	①支援による新規雇用者数	産　学振興課・農　林振興課	〔↑〕増加	―	人	154	420	【Ｄ】大きく遅れ
	②地場企業の育成・企業立地の促進						86		
	③創業の支援	②プロジェクト創出件数	産　学振興課・農　林振興課	〔↑〕増加	―	件	12	58	【Ｂ】概ね順調
	④大学との連携推進						11		
(2)安心して出産・子育てができるまちづくり	①婚活支援 ②妊娠・出産・子育ての一貫した支援 ③子育てしやすい環境充実 ④仕事と生活の調和に向けた支援	①合計特殊出生率	子育て支援課	〔↑〕増加	1.63	ポイント	1.64	1.70	【Ａ】目標どおり
							1.73		
		②子育てしやすいまちと評価する人の割合		〔↑〕増加	41.00	%	42.80	50.00	【Ｅ】未実施
							※ 調査等未実施		
(3)次代を担うひとを育てる、学びのまちづくり	①特色ある学校教育の推進 ②学力レベルの向上 ③国際交流を通じたひとづくり ④高等教育支援	①（小学校）「全国標準学力検査NRT・CRT」と（中学校）「標準学力分析検査」の平均値	学　校教育課	〔↑〕増加	全国平均を上回った小・中学校数 32校中26校	校	小＝22 中＝ 5	32	【Ｂ】概ね順調
							小＝21 中＝ 5		
		②発展、応用の学力の指標となる「全国学力・学習状況調査」の平均値	学　校教育課	〔↑〕増加	(小) 100 (中)　98	―	小:100 中:100	(小･中) 100 以上	【Ｂ】概ね順調
							小:99.8 中:98.3		

基本目標	個別施策	目標指標	担当課	目標の方向性	基準値	単位	H27 進捗状況 上：目標 下：実績	最終目標値	進捗状況評価
(4)健幸で魅力あふれるまちづくり	①健幸都市いいづかの実現 ②拠点連携型の都市づくりの推進 ③観光の振興、地域資源の活用 ④新しい時代を担う地域づくりの推進	①社会増減の純移動率	総合政策課	〔→〕維持	社会増減の純移動率（ゼロ）	ポイント	0 -1.24	ゼロ	【C】少々遅れ
		②1人あたりの医療費	医療保険課	〔→〕維持	①国民健康保険医療費 366,528円 ②後期高齢者医療費 1,113,005円	千円	① 366 ②1,113 ①385 ② — ※ ②は県広域連合の算定時期前のため未定	① 366 ②1,113	【C】少々遅れ

【基本目標の進捗状況に関する内部評価結果集計表】

区分	【A】目標達成（100%以上）	【B】概ね順調（90～99%）	【C】やや遅れ（80～89%）	【D】大きく遅れ（79%以下）	【E】未着手（未実施）	合計
基本目標の目標値	1	3	2	1	1	8

総 務 委 員 会 資 料
平成28年12月15日開催

平成28年度飯塚市職員採用試験実施状況

試験区分	採用 予定数	申込者数 （名）	第1次試験 受験者数 （名）	第1次試験 合格者数 （名）	第2次試験 受験者数 （名）	第2次試験 合格者数 （名）
行政事務（上級）	15名程度	440	294	60	45	36
行政事務（初級）	5名程度	189	120	20	8	8
行政事務 （身体障がい者対象）	2名程度	7	7	5	4	4
行政事務 （民間企業等職務経験者 （UIJターン））	2名以内	11	8	6	5	4
学芸員	1名以内	19	12	5	5	5
土木	3名以内	23	16	6	6	5
土木 （民間企業等職務経験者）	2名以内	3	3	3	2	2
電気	1名以内	7	5	4	4	3
化学	1名以内	19	16	5	4	3
保健師	2名以内	23	15	8	6	6
合計	34名程度	741	496	122	89	76